

2017年度 通期 業績概要

注意事項

- 本資料に記載されている業績見通し等に関する将来の予測は、当社が現時点で入手可能な情報と、合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績はさまざまな要因により、この見通しとは異なることがあります。実際の業績等に影響を与えうる重要な要因には、当社の事業領域を取り巻く国内外の経済情勢、当社製品・サービスに対する需要動向、為替・株式市場の動向などがあります。なお、業績に影響を与える要因はこれらに限定されるものではありません。
- 本資料に記載の数値は四捨五入にて表示しており、決算短信など他資料と異なる場合がありますので、ご了承ください。

株式会社 安川電機 (TSE6506)

(対象期間：2017年3月21日～2018年2月28日)

決算期変更および2017年度 実績値の表記について

- 2017年度より決算期を『3月20日』から『2月末日』に変更

決算期変更後の2017年度 対象期間

2017/3/21 ~ 2018/2/28			
第 1 四半期	第 2 四半期	第 3 四半期	第 4 四半期
3/21~6/20	6/21~9/20	9/21~12/20	12/21~2/28

表記

財務報告
ベース

決算期変更前の2017年度 対象期間

2017/3/21 ~ 2018/3/20			
第 1 四半期	第 2 四半期	第 3 四半期	第 4 四半期
3/21~6/20	6/21~9/20	9/21~12/20	12/21~3/20

表記

参考値*

※参考値については、2017年10月23日の2017年度第2四半期決算において発表した
決算期変更による予想影響額を、財務報告ベースの実績に加算した数値となります。

1. 2017年度通期 連結決算

- 2017年度通期実績(連結・セグメント別)
- 主要事業の概要
(モーションコントロール,ロボット,システムエンジニアリング)
- 事業セグメント別売上高構成比
(2016年度 → 2017年度)
- 仕向先別売上高 / 売上高構成比
(2016年度 → 2017年度)
- 営業利益増減要因分析
(2016年 → 2017年度)

2. 中期経営計画「Dash 25」の進捗・課題

- 「Dash 25」の進捗状況

3. 2018年度通期 連結決算見通し

- 2018年度通期 見通し(連結・セグメント別)
- 営業利益増減要因分析
(2017年 → 2018年度 予想)
- 2018年度における取り組み
- 株主還元 (自己株式の取得・配当金推移)

4. 参考資料

- セグメント変更による過年度遡及
- 設備投資,研究開発費,為替状況
- B/S構造の推移
- 連結売上高・営業利益推移
- 四半期連結売上高推移
- 四半期連結受注推移
- 主要生産拠点

セグメント別事業概要

モーションコントロール

【主要製品】

- ・ A Cサーボモータ、コントローラ
- ・ リニアサーボ
- ・ インバータ

など



ACサーボ
Σ-7シリーズ



安川インバータ
新シリーズ

マトリクス
コンバーター
U1000

ロボット

【主要製品】

- ・ 産業用ロボット
 - アーク・スポット溶接, 塗装用途向け
 - FPD搬送, ハンドリング用途向け
- ・ 半導体製造装置用ロボット
- ・ バイオ・メディカル用途向けロボット
- ・ 人協働ロボット

など



新小型ロボット
MOTOMAN-GP8

新型アーク溶接ロボット
MOTOMAN-AR1730



人共存形ロボット
HC10

システムエンジニアリング

【主要製品】

- ・ 鉄鋼プラント用電機システム
- ・ 上下水道用電気計装システム
- ・ 大型風力発電用電機品
- ・ 太陽光発電用パワーコンディショナ

など



大型風力発電用
発電機とコンバータ



連続鋳造設備



パワーコンディショナ
Enewell-SOL P2H



上下水道用
電気計装システム

その他

【主要製品】

- ・ 情報関連事業
- ・ 物流サービス

など

1. 2017年度通期 連結決算

2017年度 通期実績（連結）

- 旺盛な需要を受け、大幅に増収増益（年度業績として過去最高）

	2017年度 実績 （財務報告ベース）	決算期 変更影響	2017年度 実績 （参考値）	2016年度 実績	前年度比 ※	
					増減額	増減率
売上高	4,485億円	+160億円	4,645億円	3,949億円	+696億円	+17.6%
営業利益	541億円	+30億円	571億円	304億円	+267億円	+87.9%
経常利益	553億円	+30億円	583億円	320億円	+263億円	+82.4%
親会社株主に帰属する 当期純利益	397億円	+20億円	417億円	204億円	+214億円	+104.7%

※ 2017年度 実績（参考値）対 2016年度 実績

2017年度 通期実績（セグメント別）

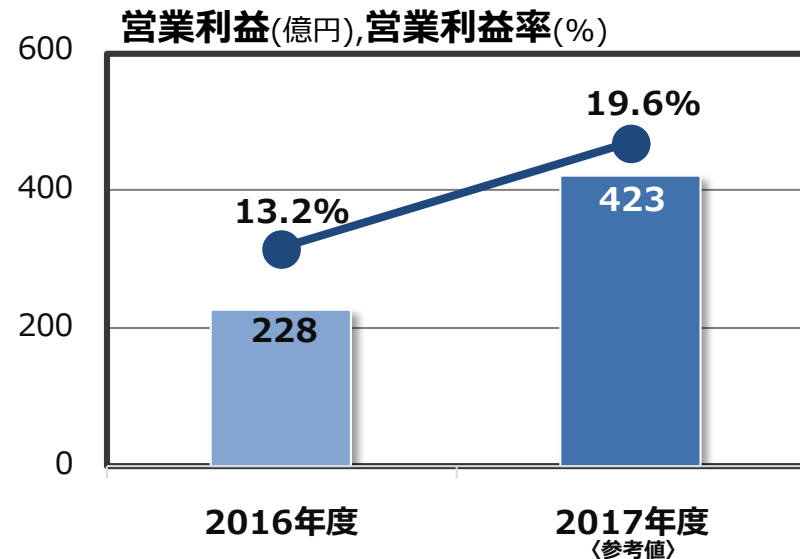
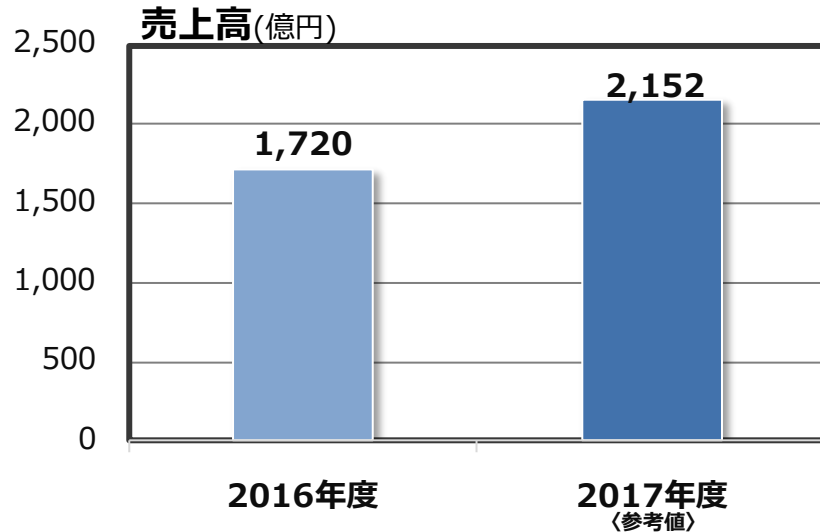
- ・ モーションコントロール、ロボットの売上高が伸長し、収益性は大幅に向上

	2017年度		決算期 変更影響	2017年度		2016年度		前年度比※	
	実績 〈財務報告ベース〉	利益率		実績 〈参考値〉	利益率	実績	利益率	増減額	増減率
(単位：億円)									
売上高	4,485		+160	4,645		3,949		+696	+17.6%
モーションコントロール	2,121		+31	2,152		1720		+432	+25.1%
ロボット	1,634		+35	1,668		1400		+268	+19.2%
システムエンジニアリング	529		+84	613		594		+19	+3.3%
その他	201		+10	211		235		▲24	▲10.1%
営業利益	541	12.1%	+30	571	12.3%	304	7.7%	+267	+87.9%
モーションコントロール	417	19.7%	+5	423	19.6%	228	13.2%	+195	+85.6%
ロボット	178	10.9%	+7	185	11.1%	103	7.3%	+82	+80.1%
システムエンジニアリング	▲38	▲7.2%	+17	▲21	▲3.4%	▲6	▲1.0%	▲15	-
その他	▲2	▲1.1%	+1	▲2	▲0.7%	▲7	▲3.1%	+6	-
消去または全社	▲14	-	+0	▲14	-	▲13	-	▲1	-
経常利益	553	12.3%	+30	583	12.6%	320	8.1%	+263	+82.4%
親会社株主に帰属する当期純利益	397	8.9%	+20	417	9.0%	204	5.2%	+214	+104.7%

※ 2017年度 実績〈参考値〉対 2016年度 実績

[注.] 2017年度4-6月期より「モーションコントロール」に含めていた太陽光発電用パワーコンディショナを「システムエンジニアリング」に含める等のセグメント区分変更を実施
 なお、2016年度 実績については、セグメント区分変更後のベースで記載（詳細は巻末_参考資料を参照）

主要事業の概要_モーションコントロール



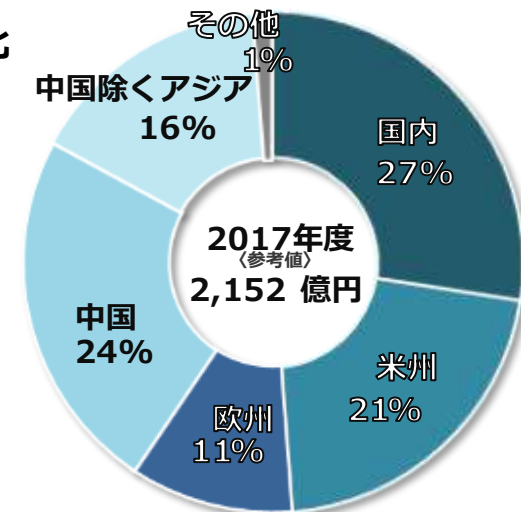
【売上高】

- ACサーボは、生産設備の自動化加速やスマートフォン関連の旺盛な需要を受け、半導体・電子部品向けを中心に好調
- インバータは、米国オイル・ガス関連需要や中国インフラ投資の回復により、販売が好調

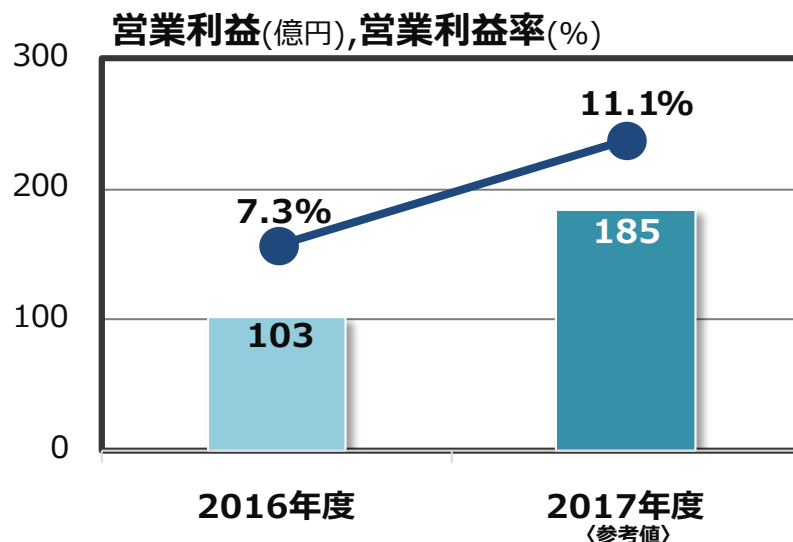
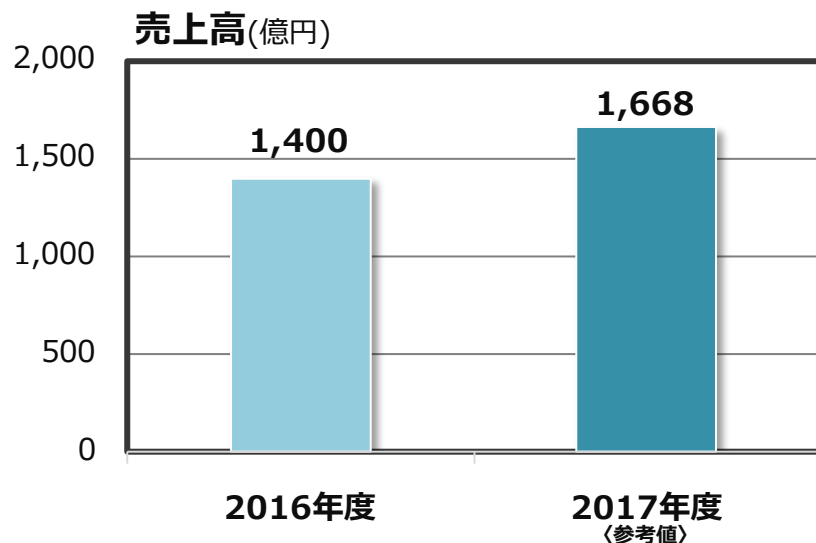
【営業利益】

- 主力製品「Σ-7シリーズ」の販売比率向上や、中国を中心とした海外売上・生産の拡大により、収益性は大幅に向上

仕向先別売上高構成比



主要事業の概要_ロボット



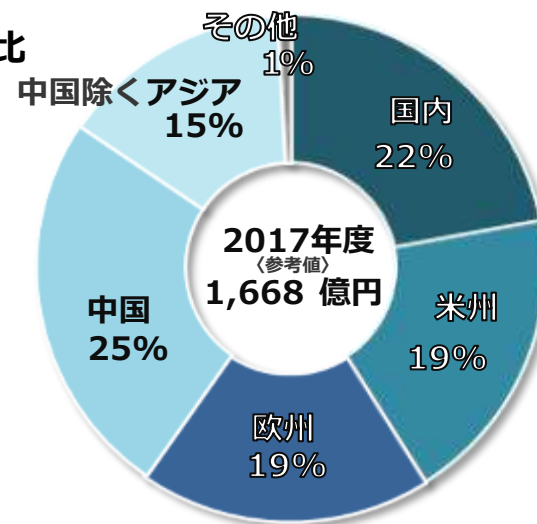
【売上高】

- 自動車関連向けはグローバルで堅調
- 一般産業分野は生産自動化に伴う旺盛な需要を受け、中国を中心に拡大
- 半導体ロボットは旺盛な需要により好調

【営業利益】

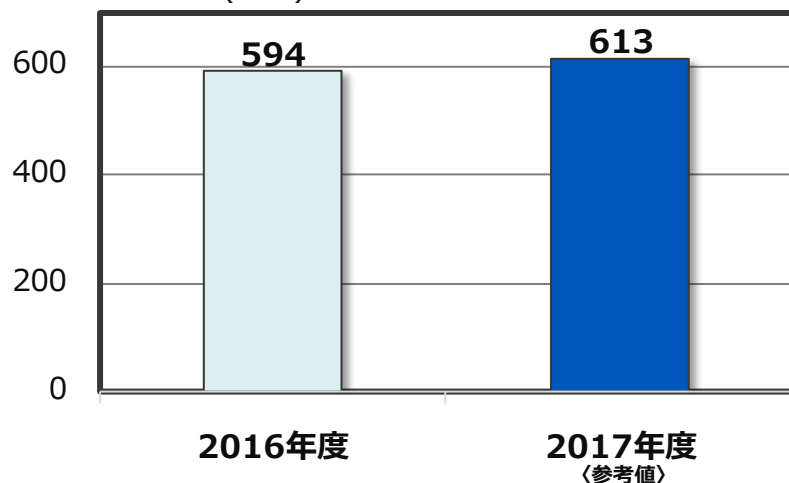
- 好調な需要を受け生産が高水準で推移したことに加え、中国生産比率の向上により収益性は大幅に伸長

仕向先別売上高構成比



主要事業の概要_システムエンジニアリング

売上高(億円)



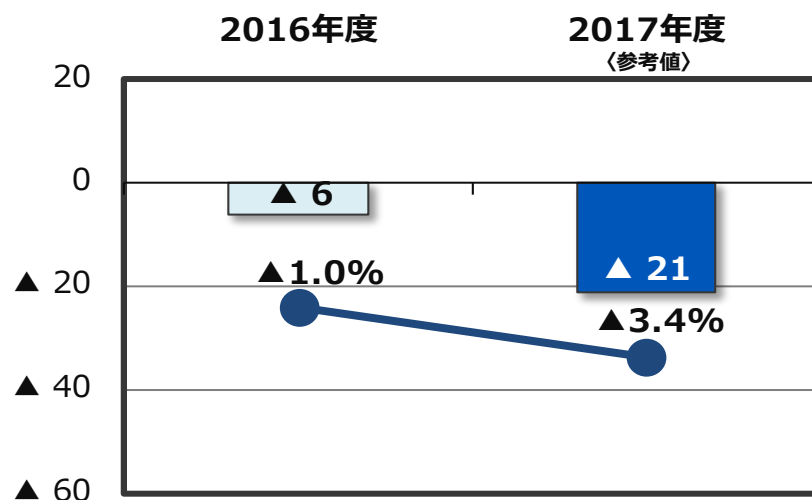
【売上高】

- 鉄鋼・社会システムは設備の更新ニーズを捉え堅調
- 環境エネルギー分野では、大型風力発電関連は堅調も、太陽光発電関連が販売低迷

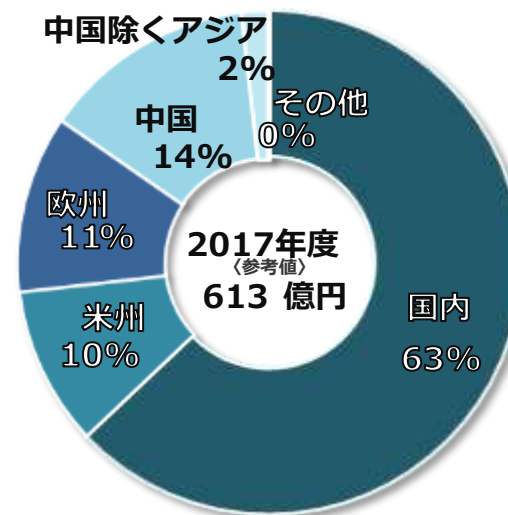
【営業損益】

- 太陽光発電関連の販売低迷により、収益性が悪化

営業損益(億円), 営業損益率(%)

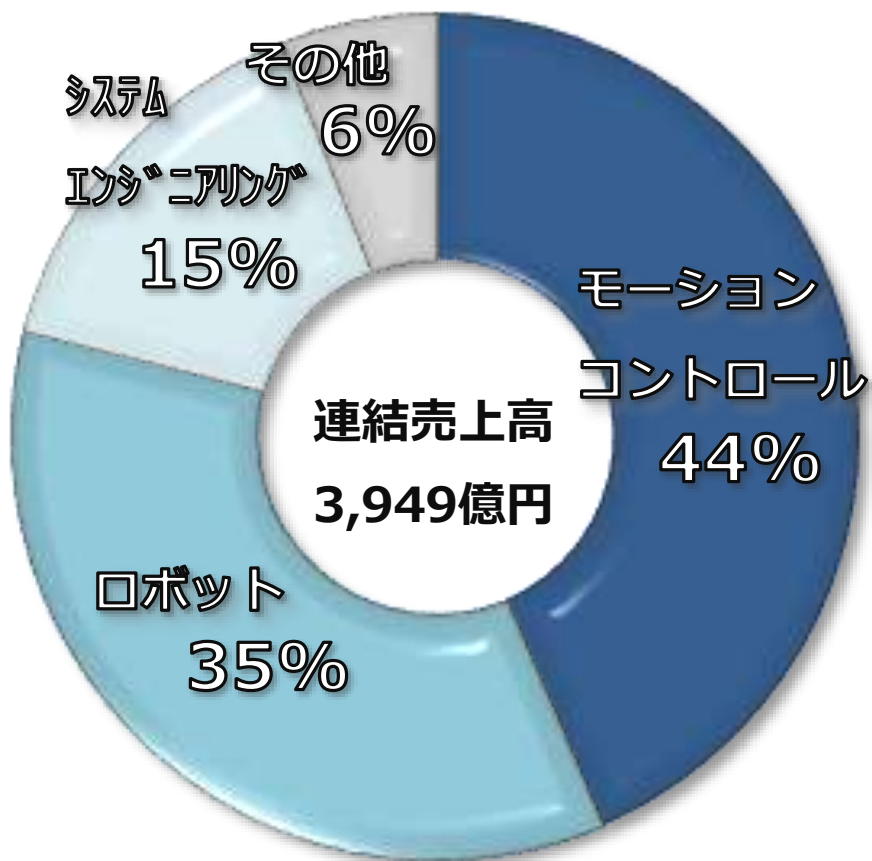


仕向先別売上高構成比



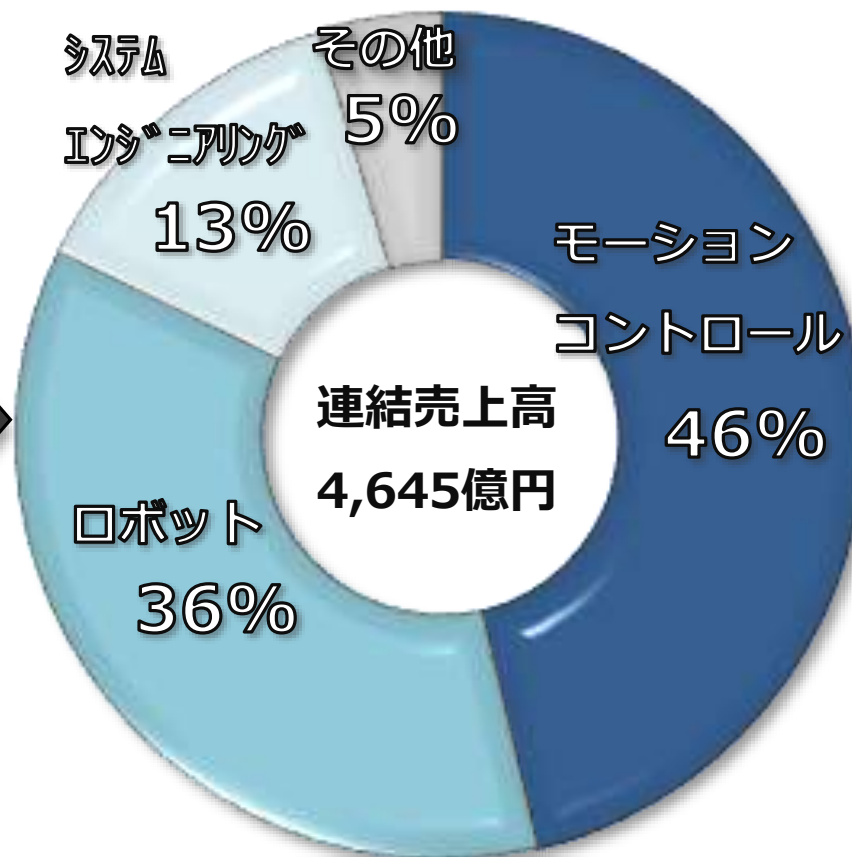
事業セグメント別売上高構成比

2016年度



2017年度

〈参考値〉



[注.] 2017年度のデータは、対象期間を2017年3月21日～2018年3月20日に置き換えた〈参考値〉にて記載

仕向先別売上高（2016年度 → 2017年度）

中国・アジアを中心に全地域で売上高が伸長

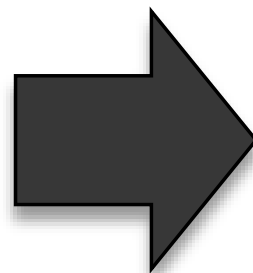
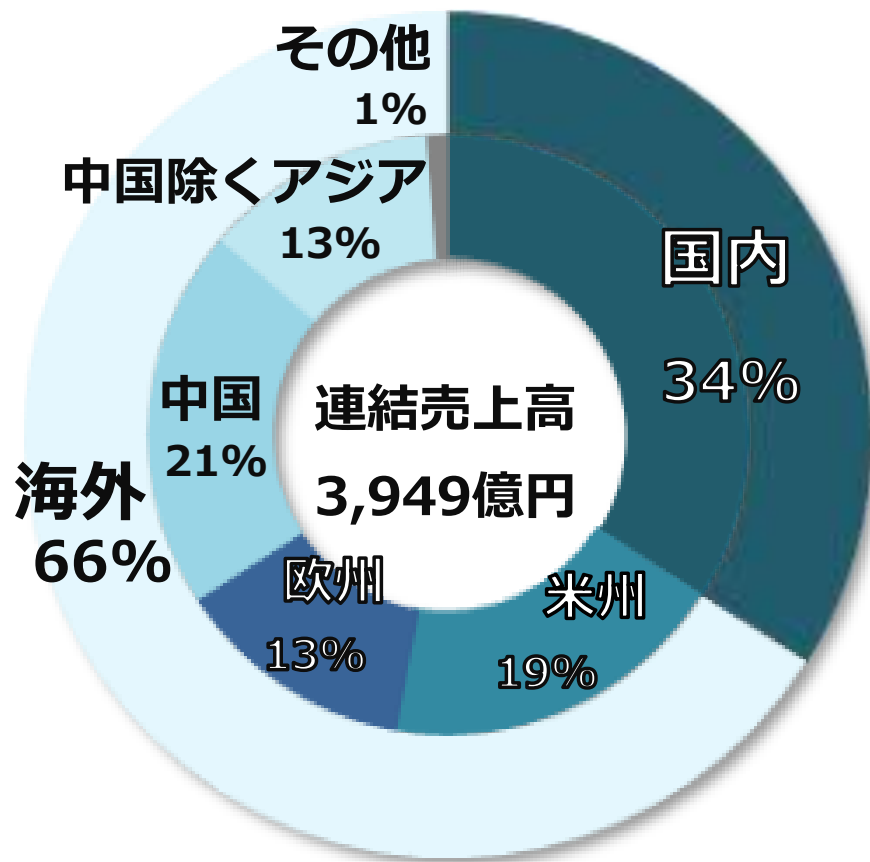
	2017年度 〈財務報告ベース〉	決算期 変更影響	2017年度 〈参考値〉	2016年度	前年度比※	
					増減額	増減率
売上高	4,485	+160	4,645	3,949	+696	+17.6%
国内	1,339	+149	1,488	1,342	+146	+10.9%
海外	3,146	+10	3,157	2,607	+550	+21.1%
米州	831	+8	838	747	+91	+12.2%
欧州	609	+0	609	507	+102	+20.1%
中国	1,033	+1	1,035	812	+222	+27.3%
中国除くアジア	634	+1	635	498	+137	+27.5%
その他	40	+0	40	42	▲2	▲5.9%

[注.] その他には、南アフリカ、オーストラリア等を含む

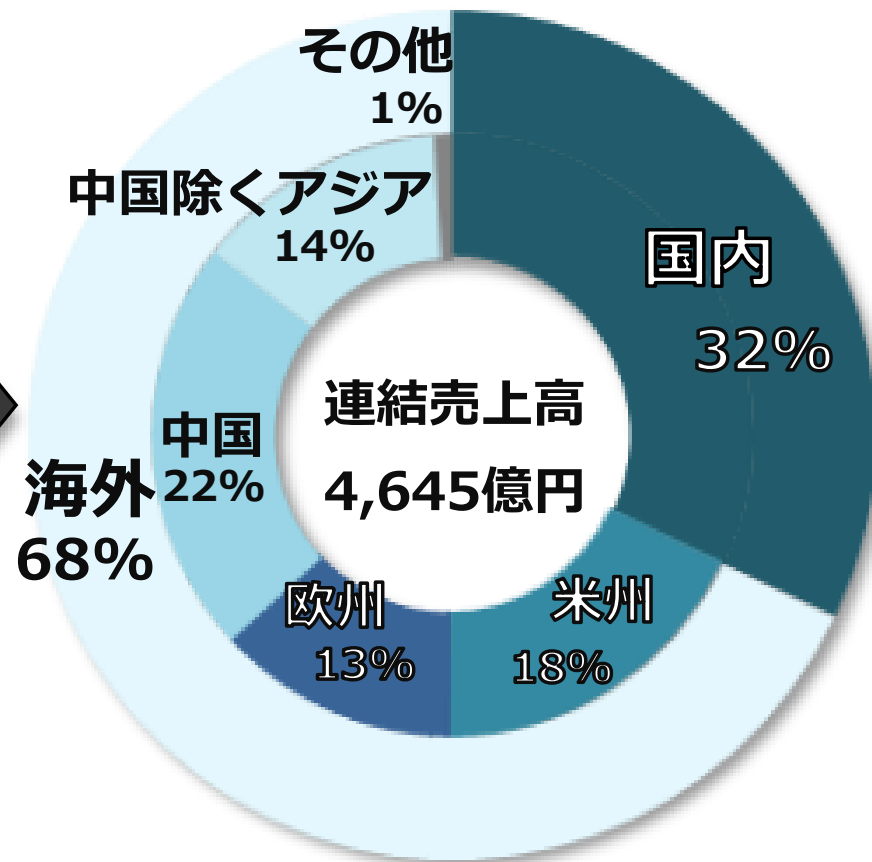
※ 2017年度 実績〈参考値〉対 2016年度 実績

仕向先別売上高構成比

2016年度



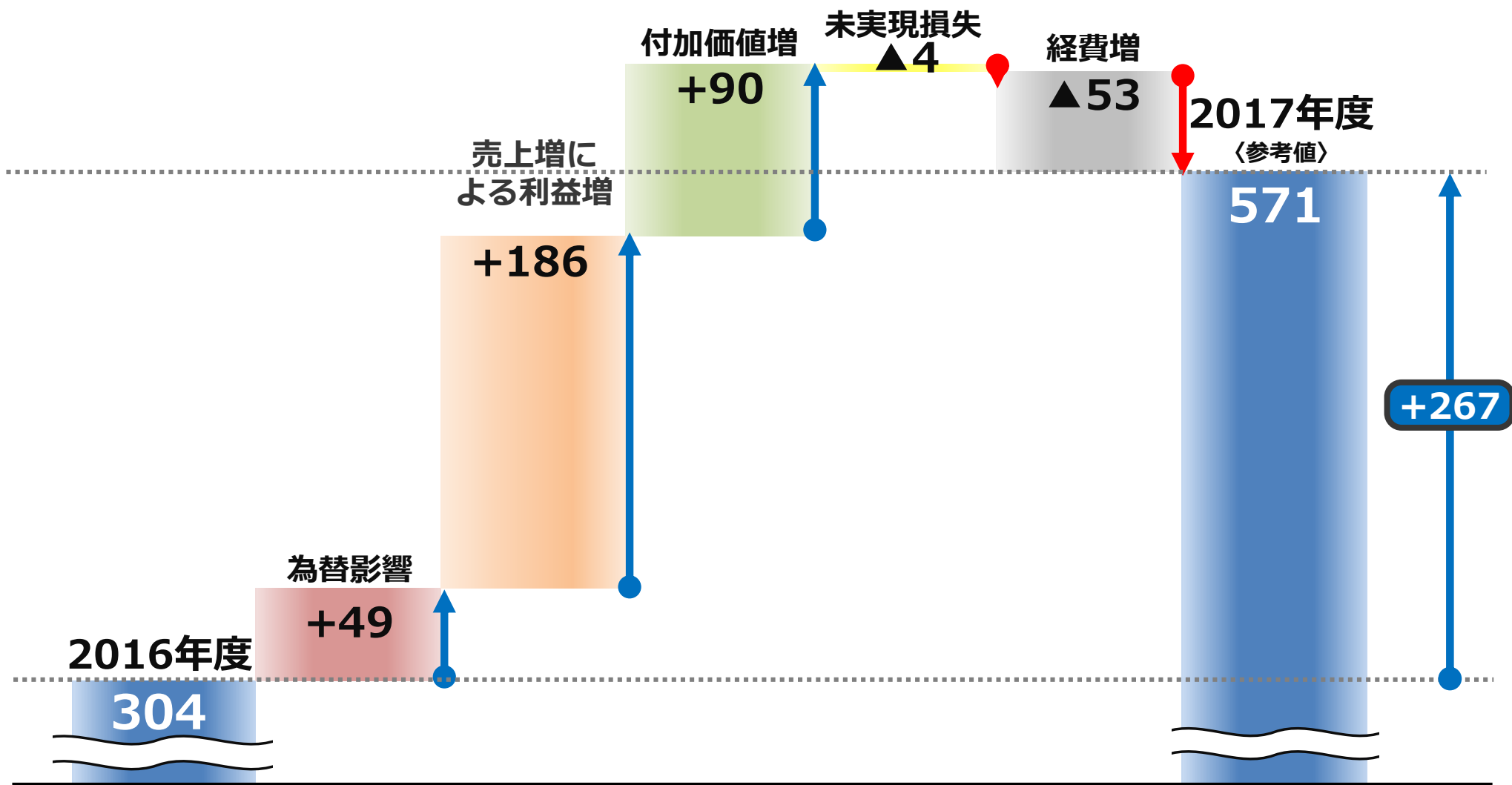
2017年度
〈参考値〉



[注.] 2017年度のデータは、対象期間を2017年3月21日～2018年3月20日に置き換えた〈参考値〉にて記載

営業利益増減要因分析（2016年度 → 2017年度）

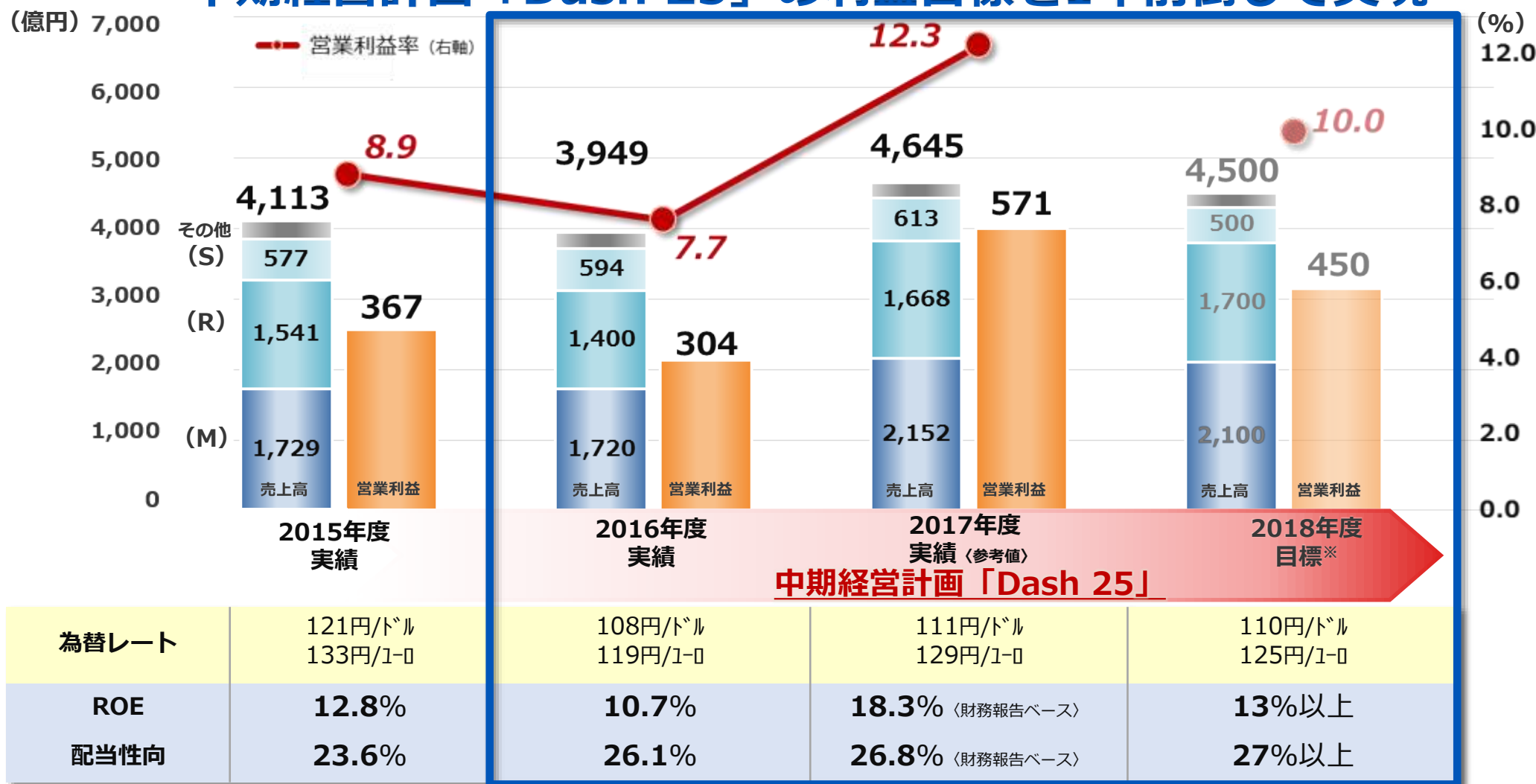
（単位：億円）



2. 中期経営計画「Dash 25」の進捗・課題

「Dash 25」の進捗状況（1）

中期経営計画「Dash 25」の利益目標を1年前倒しで実現



[注] 2015年度～2017年度の実績におけるセグメント別売上高は、セグメント区分見直し後の数値を使用

[注] 表記：(M) = モーションコントロール、(R) = ロボット、(S) = システムエンジニアリング

※2016年4月策定時の数値

「Dash 25」の進捗状況（2）：2017年度の取り組みと課題

	取り組み・成果	課題
基本方針1 前中期計画 「Realize 100」 の成果最大化	■新製品の開発・リリース ・(M):Σ-7のラインアップ拡充と切替率の向上 ・(R):新型昧バット・コントロールリリース。ラインアップ拡充 ■生産力・販売力の強化 ・(M)(R) の生産能力増強 ・IMM(事業横断)制度による市場攻略の強化	■新製品の開発・リリース ・(M):インバータ新シリーズの市場投入加速 ・(R):新型昧バットで成長市場における攻略強化 ※自動車OEM, 一般産業, 中国3C, 半導体 等 ■生産力・販売力の強化 ・(M):国内と中国での生産能力増強 ・(R):中国・欧州での生産能力増強
基本方針2 長期経営計画 「2025年ビジョン」 実現に向けた 基盤構築	■安川版インダストリ4.0の実現 ・「i³-Mechatronics(アイキューブ メカトロニクス)」コンセプトの発表 ・安川ソリューションファクトリーの着工 ・AIベンチャー 加スコンパス社との資本提携 ■コア事業の領域拡大 ・ファンイン精密・美的との連携による売上拡大 ・(R):人協働ロボットの市場投入 ■「食」の自動化 ・中食および植物工場向けのソリューション開発	■「i³-Mechatronics」コンセプトの実現 ・コンセプト実現に向けた営業体制の強化 ・安川ソリューションファクトリーの立上げ ・AIソリューションの開発強化 ■コア事業の領域拡大 ・一般産業市場でのさらなる売上拡大 ・人協働ロボットの拡販 ■「食」の自動化 ・中食・植物工場向け自動化ビジネスの基盤構築
基本方針3 Clean Power事業 のコア事業化	■環境エネルギー事業 ・大型風力発電用電機品の採算性向上 ・太陽光パワーコンディショナ事業のグローバル拠点の再編 ■EV事業 ・奇瑞との合併会社における量産準備完了	■環境エネルギー事業 ・大型風力発電用電機品の売上拡大 ・太陽光発電向け新製品の早期市場投入 ■EV事業 ・奇瑞との合併会社における量産立ち上げ

[注] 表記：(M) = モーションコントロール、(R) = ロボット、(S) = システムエンジニアリング

3. 2018年度通期 連結決算見通し

2018年度 通期見通し（連結）

・ 好調な自動化・省力化需要を背景に、売上高・利益ともに過去最高を計画

	2018年度 予想	2017年度 実績 （参考値）	前年度比	
			増減額	増減率
売上高	5,100億円	4,645億円	+455億円	+9.8%
営業利益	655億円	571億円	+84億円	+14.7%
経常利益	670億円	583億円	+87億円	+14.9%
親会社株主に帰属する 当期純利益	500億円	417億円	+83億円	+19.8%

2018年度 通期見通し（セグメント別）

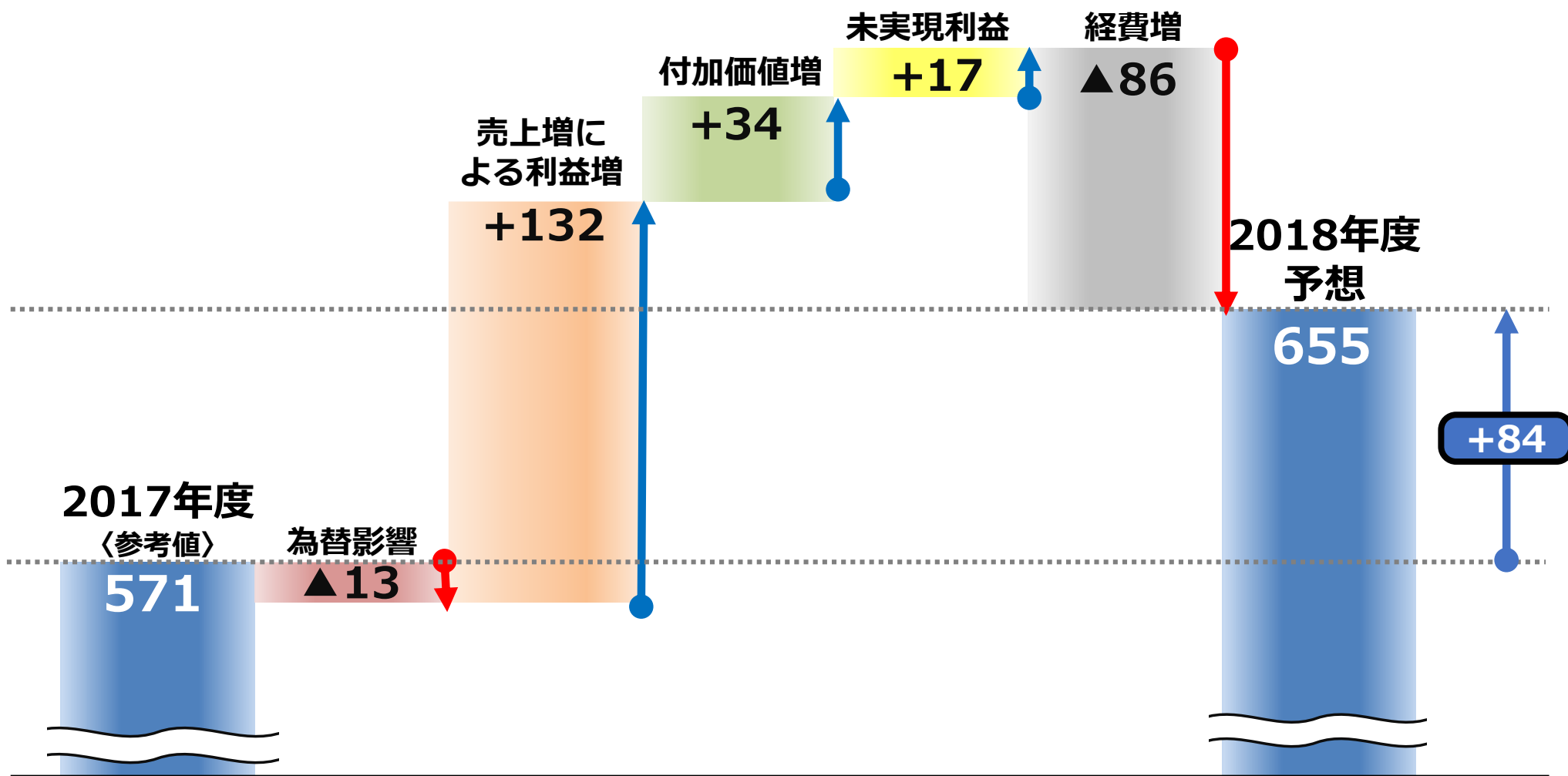
- （M）（R）を中心に増収増益。（S）は黒字化を計画

	2018年度		2017年度		前年度比	
	予想	利益率	実績 〈参考値〉	利益率	増減額	増減率
（単位：億円）						
売上高	5,100		4,645		+455	+9.8%
モーションコントロール	2,315		2152		+163	+7.6%
ロボット	1,832		1668		+164	+9.8%
システムエンジニアリング	605		613		▲8	▲1.3%
その他	348		211		+136	+64.4%
営業利益	655	12.8%	571	12.3%	+84	+14.7%
モーションコントロール	458	19.8%	423	19.6%	+35	+8.3%
ロボット	211	11.5%	185	11.1%	+26	+14.2%
システムエンジニアリング	0	0.0%	▲21	▲3.4%	+21	-
その他	7	1.9%	▲2	▲0.7%	+8	-
消去または全社	▲21	-	▲14	-	▲7	-
経常利益	670	13.1%	583	12.6%	+87	+14.9%
親会社株主に帰属する当期純利益	500	9.8%	417	9.0%	+83	+19.8%

[注.] 表記：（M）＝モーションコントロール，（R）＝ロボット，（S）＝システムエンジニアリング

営業利益増減要因分析（2017年度 → 2018年度 予想）

（単位：億円）



2018年度における取り組み（1）

➤ 主力事業の収益力拡大

➔ グローバルで急速に進展する生産の自動化・高度化への対応

- ・ ロボットコントローラを軸にロボティクス領域(ロボット+モーションコントロール) を攻略
- ・ 自動車・半導体・一般産業などの成長市場における売上拡大
- ・ 人協働ロボット関連製品の拡充と販売チャネル構築による拡販
- ・ 販売量増加に対応した効率的な生産による収益力拡大

➤ グローバルな生産力の拡大

➔ 日本における次世代工場

安川ソリューションファクトリー
完成イメージ

「安川ソリューションファクトリー(仮称)」の立ち上げ

- ・ “i³-Mechatronics”の実証を通じた更なる生産性向上の実現

➔ 中国・欧州における工場の拡張・新設

- ・ 中国（瀋陽）第3工場(ACサーボ生産拠点)の増設
- ・ 中国（常州）第3工場 (ロボット生産拠点)の増設
- ・ 欧州（スロベニア）ロボット工場の新設



欧州新工場
完成イメージ

2018年度における取り組み（2）

➤ 技術シナジー最大化による開発力強化

➔ 安川テクノロジーセンタ（仮称）の新設

- ・ 国内の開発機能を集約し、基礎研究から量産試作までの一貫した研究開発体制を構築

➤ 国内営業体制の再構築

➔ 「製品・事業別」から「地域・カスタマ別」へ国内販売体制の再構築

- ・ カスタマニーズの変化に対応した事業横断的な活動強化

➤ 新規事業の拡大

➔ 「選択と集中」によるリソース強化

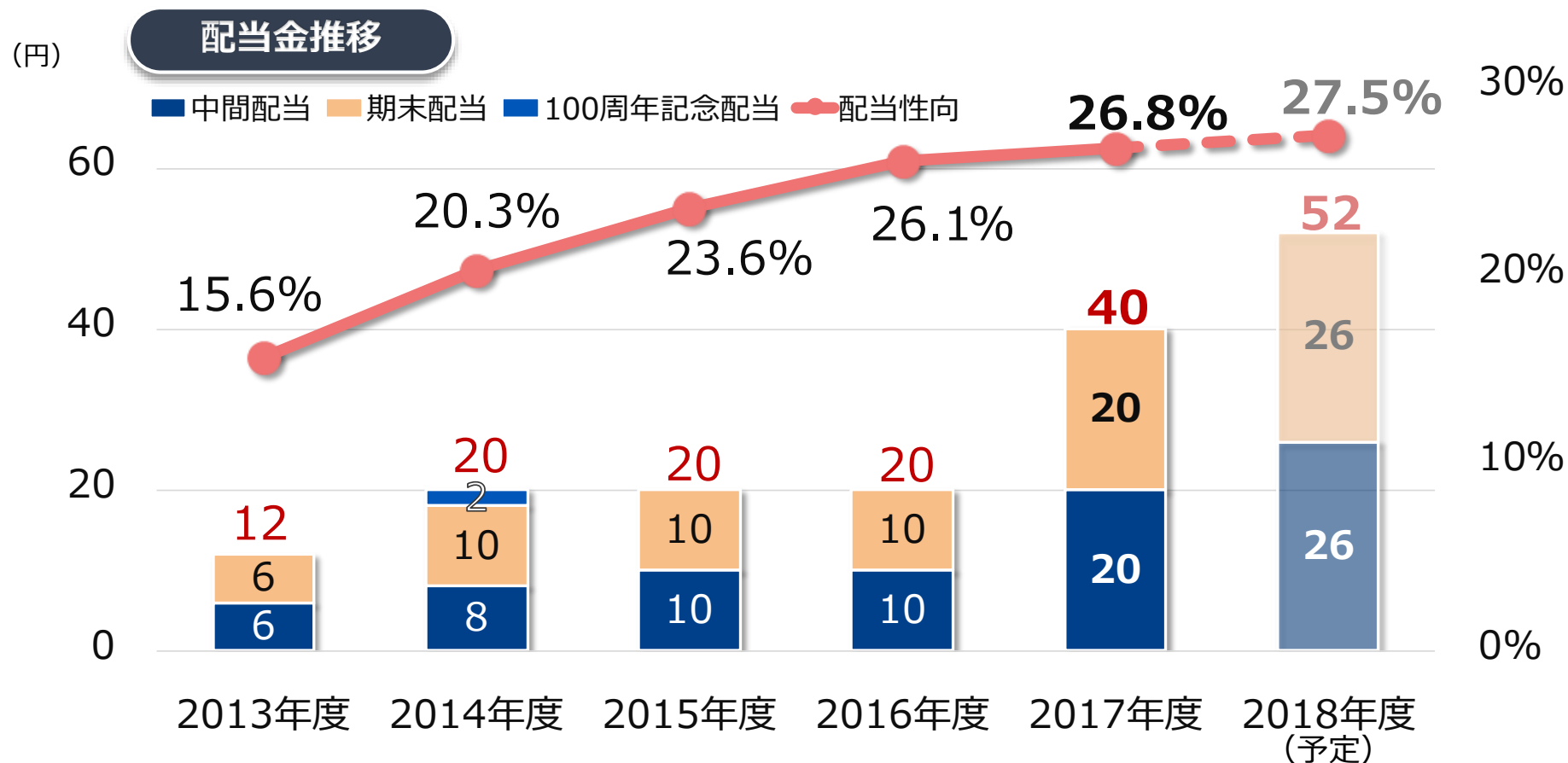
- ・ 国内食品市場における自動化・省人化への取り組み加速
- ・ 環境エネルギー事業における新製品投入と運営体制の見直しによりグローバルな事業基盤を構築
- ・ 奇瑞安川電駆動系統有限公司におけるEV用電気品量産立ち上げ



サンドウィッチ
番重詰めロボット

株主還元（自己株式の取得・配当金推移）

- 自己株式200万株(最大120億円)の取得を実施
- 配当性向は2020年目標(30%以上)に向けて着実に向上



4. 参考資料

セグメント変更による過年度遡及（2016年度実績）

- ・2017年度より、従来(M)に含めていた太陽光発電用パワーコンディショナをシステムエンジニアリングに移すなどの**セグメント区分を見直し**

2016年度（セグメント変更後）								変更 影響額 通期
(単位：億円)	1Q	2Q	上期	3Q	4Q	下期	通期	
売上高	904	973	1,876	970	1,102	2,072	3,949	-
モーションコントロール	408	424	832	425	463	888	1,720	▲113
ロボット	324	360	684	337	379	716	1,400	-
システムエンジニアリング	117	130	247	155	192	347	594	+112
その他	55	59	114	54	68	122	235	+1
営業利益	55	84	138	78	88	166	304	-
モーションコントロール	46	62	108	61	59	120	228	+20
ロボット	22	34	56	23	23	47	103	-
システムエンジニアリング	▲9	▲7	▲16	▲1	11	10	▲6	▲15
その他	▲2	▲2	▲4	▲1	▲2	▲3	▲7	▲5
消去または全社	▲3	▲2	▲6	▲4	▲4	▲7	▲13	-

設備投資、研究開発費、為替状況

設備投資の状況

(単位：億円)

	2016年度(実績)	2017年度(実績)	2018年度(計画)
設備投資額	149.1	196.9	300.0
減価償却費	120.8	126.9	140.0

研究開発投資の状況

(単位：億円)

	2016年度(実績)	2017年度(実績)	2018年度(計画)
研究開発投資	179.8	190.7	210.0

為替状況

(円)

	2016年度(実績)			2017年度(実績)			2018年度(想定)
	上期	下期	通期	上期	下期	通期	通期
対 米ドル	107.1	109.6	108.4	111.5	111.5	111.4	105.0
対 ユーロ	120.0	118.4	119.2	124.4	133.3	128.8	130.0

※ 為替レートについては、期中平均レートを記載

B / S 構造の推移

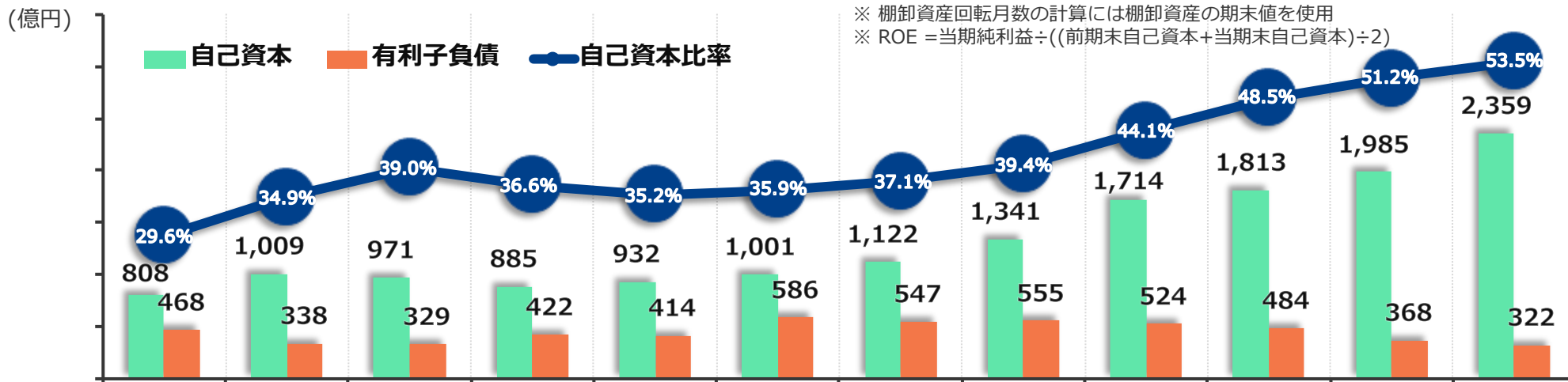
2017年3月20日時点

- 自己資本比率 51.2%
- 自己資本 1,985億円
- 有利子負債 368億円
- D/Eレシオ 0.19
(ネットD/Eレシオ) 0.04
- 棚卸資産 799億円
(回転月数) (2.4ヶ月)
- ROE 10.7%

2018年2月28日時点

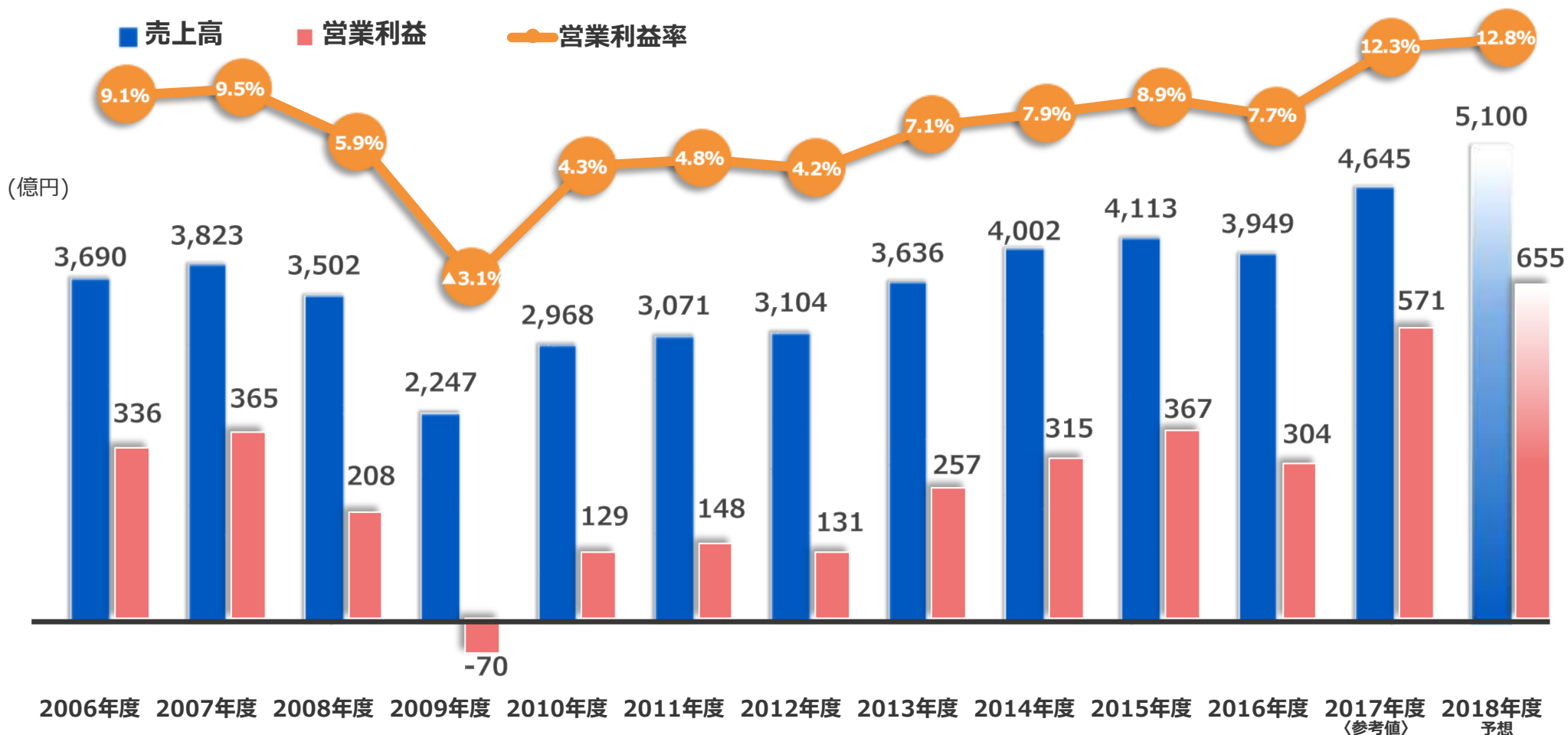
- 自己資本比率 53.5%
- 自己資本 2,359億円
- 有利子負債 322億円
- D/Eレシオ 0.14
(ネットD/Eレシオ) ▲0.04
- 棚卸資産 1,001億円
(回転月数) (2.7ヶ月)
- ROE 18.3%

※ 有利子負債はリース債務を含む
 ※ 棚卸資産回転月数の計算には棚卸資産の期末値を使用
 ※ ROE = 当期純利益 ÷ ((前期末自己資本 + 当期末自己資本) ÷ 2)



(億円)	2007年3月	2008年3月	2009年3月	2010年3月	2011年3月	2012年3月	2013年3月	2014年3月	2015年3月	2016年3月	2017年3月	2018年2月
営業CF	150	177	125	40	25	64	246	240	290	320	338	461
投資CF	▲ 61	▲ 99	▲ 107	▲ 65	▲ 67	▲ 119	▲ 181	▲ 169	▲ 279	▲ 224	▲ 189	▲ 189
フリーCF	89	78	18	▲ 24	▲ 43	▲ 55	66	70	11	95	148	272

連結売上高・営業利益推移（2006年度～2018年度予想）



ダッシュ 100

Challenge 100

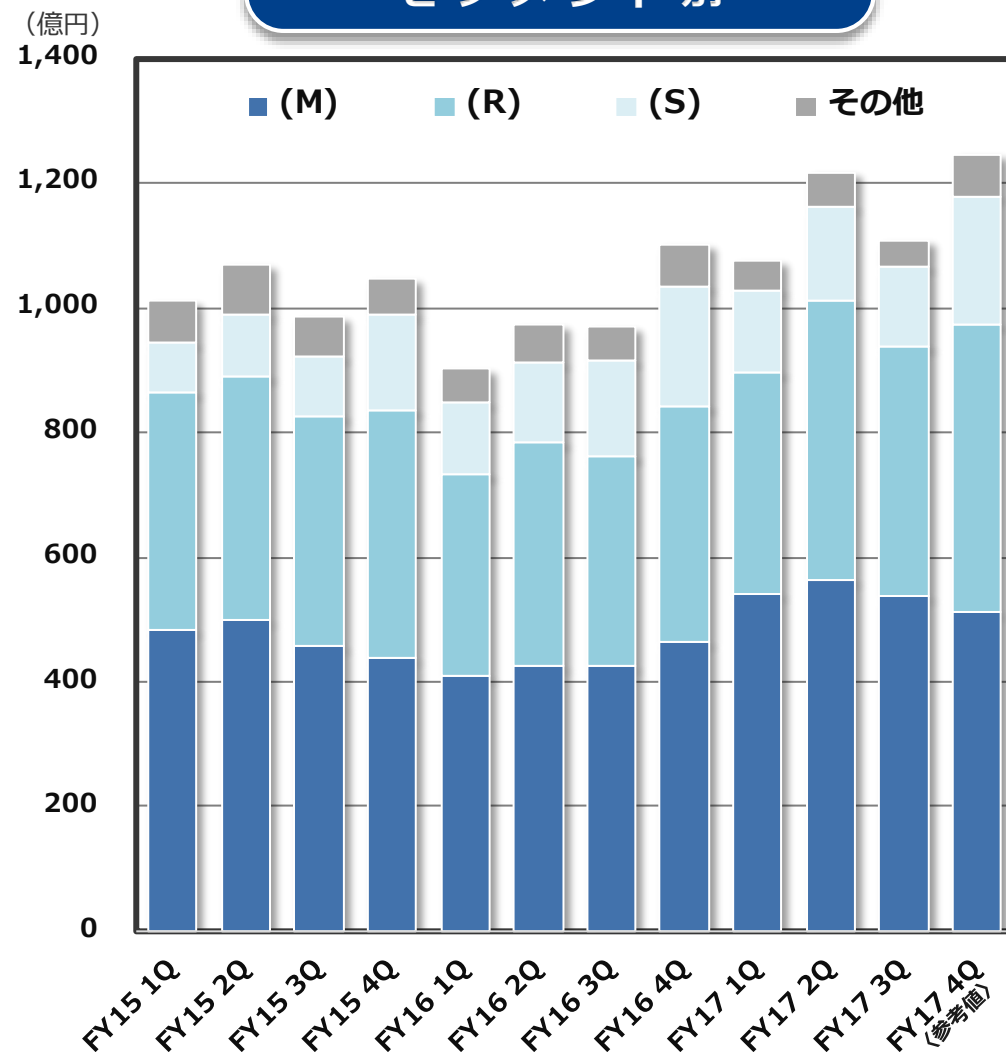
Realize 100

Dash 25

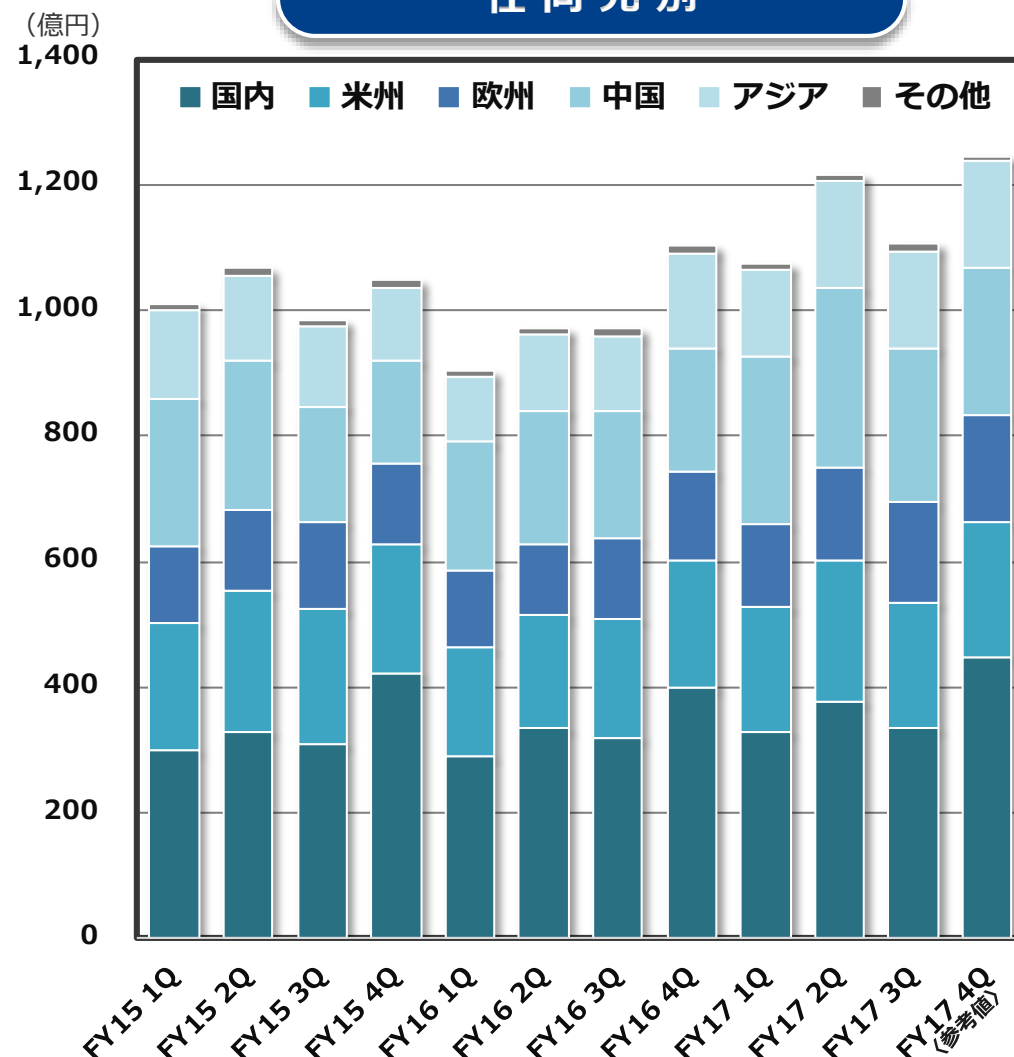
中期経営計画

四半期連結売上高推移

セグメント別



仕向先別

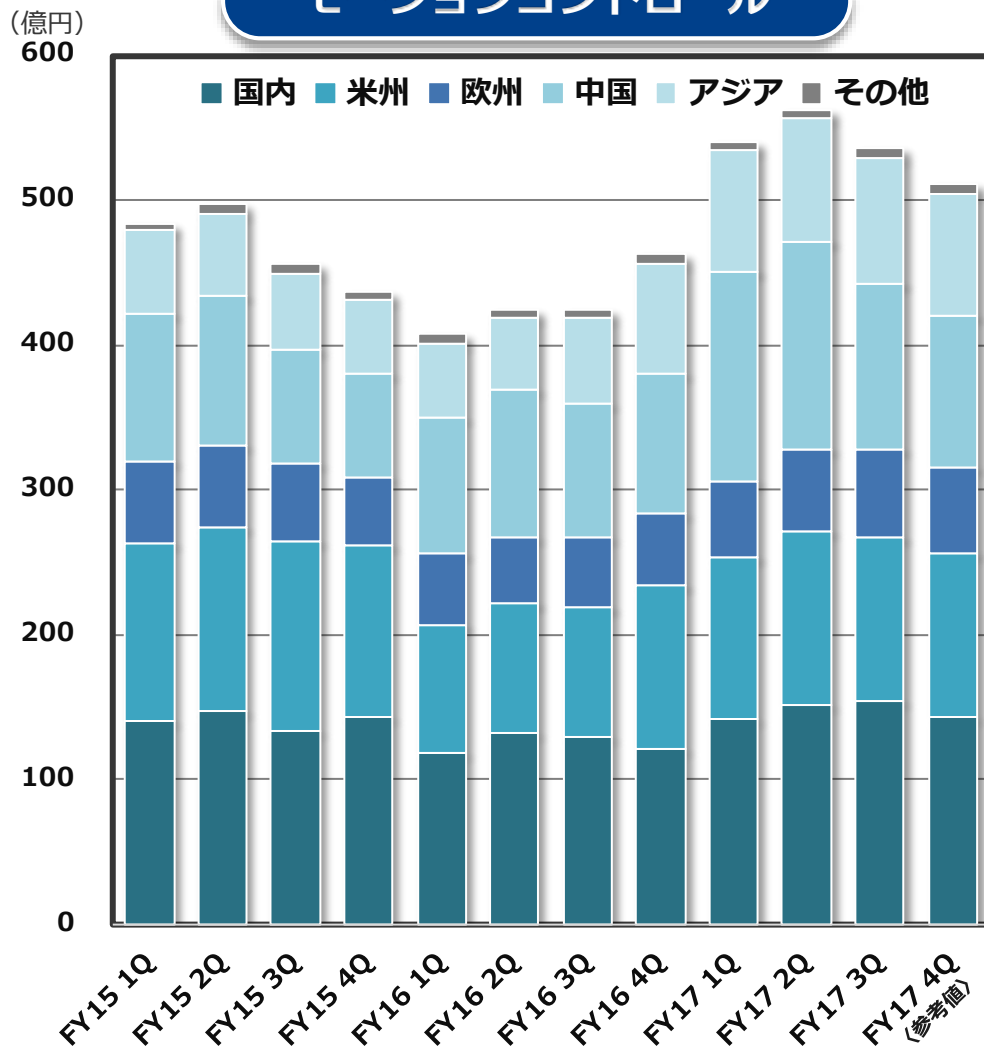


[注.1] FY2017 4Qのデータは、対象期間を2017年12月21日～2018年3月20日に置き換えた〈参考値〉にて記載

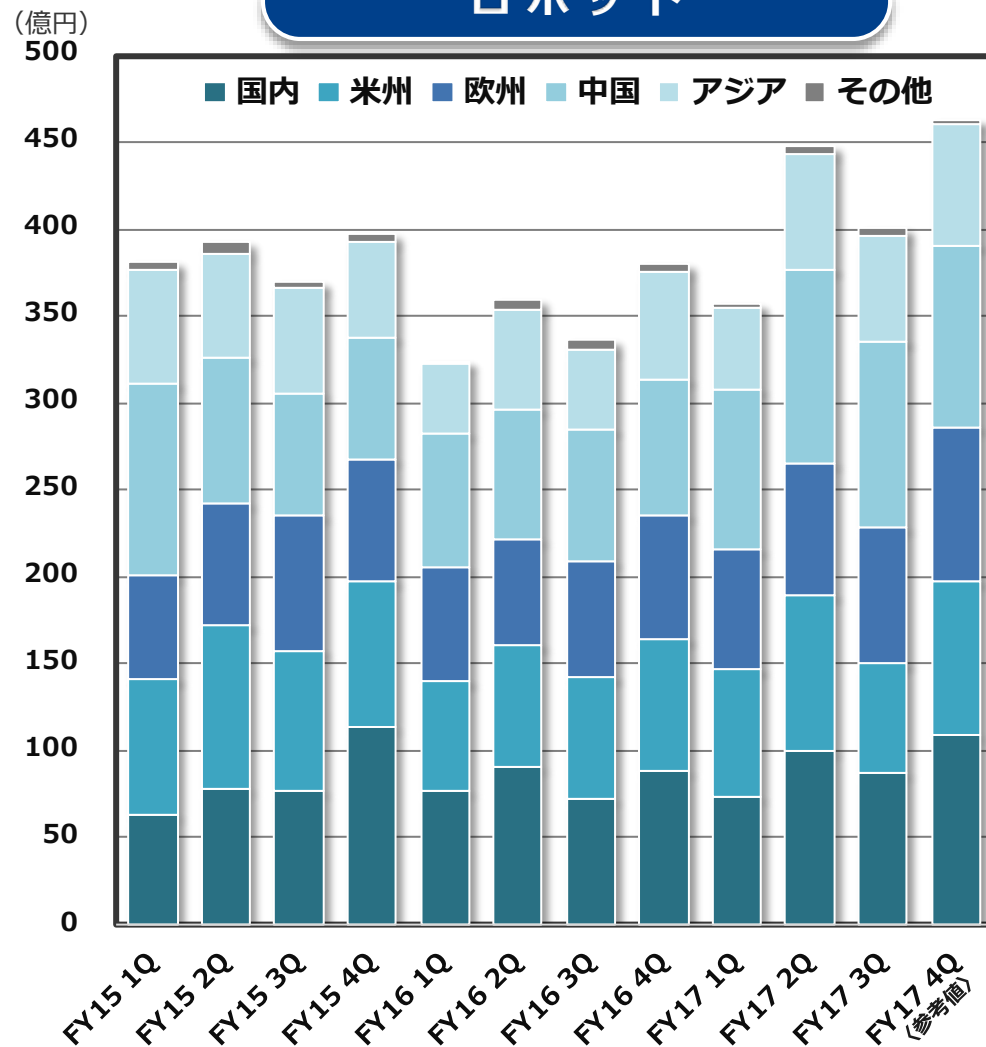
[注.2] 表記：(M) = モーションコントロール, (R) = ロボット, (S) = システムエンジニアリング [注.] FY2015の数値は、セグメント区分見直し前の数値を使用

四半期連結売上高推移

モーションコントロール



ロボット

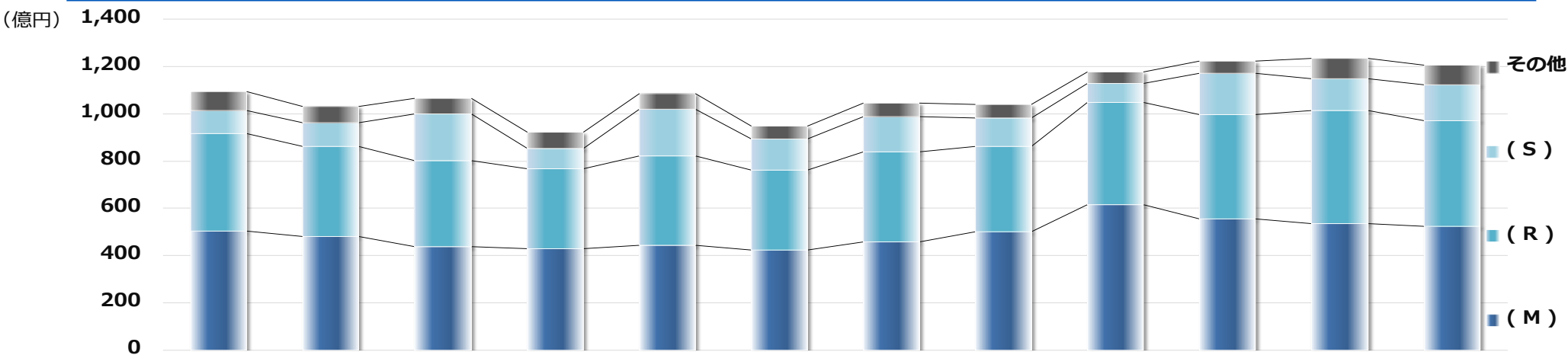


[注.1] FY2017 4Qのデータは、対象期間を2017年12月21日～2018年3月20日に置き換えた〈参考値〉にて記載

[注.2] FY2015の数値は、セグメント区分見直し前の数値を使用

四半期連結受注推移（セグメント別）

※為替は期中平均レートを使用



		FY2015				FY2016				FY2017			
		1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q 〈参考値〉
全社	YoY	+8%	+6%	+1%	▲17%	▲1%	▲8%	▲2%	+13%	+8%	+29%	+18%	+16%
	QoQ	▲1%	▲6%	+3%	▲14%	+18%	▲13%	+10%	▲1%	+13%	+4%	+1%	▲2%
YoY	(M)	+3%	+5%	▲8%	▲12%	▲12%	▲12%	+5%	+17%	+39%	+31%	+17%	+5%
	(R)	+17%	+18%	+1%	▲14%	▲9%	▲11%	+5%	+7%	+14%	+31%	+25%	+24%
	(S)	+23%	+3%	+40%	▲37%	+106%	+31%	▲24%	+43%	▲59%	+33%	▲10%	+24%
QoQ	(M)	+3%	▲4%	▲9%	▲2%	+3%	▲4%	+8%	+9%	+23%	▲10%	▲3%	▲2%
	(R)	+6%	▲8%	▲4%	▲7%	+12%	▲11%	+13%	▲5%	+19%	+2%	+8%	▲6%
	(S)	▲28%	+5%	+96%	▲57%	+134%	▲33%	+14%	▲20%	▲33%	+118%	▲23%	+11%
為替 レート	円/ドル	120.2	123.5	121.0	118.5	110.8	103.5	104.8	114.5	111.9	111.1	112.2	110.7
	円/ユーロ	131.2	137.4	133.9	129.7	124.5	115.6	115.3	121.5	120.9	127.9	132.4	134.2

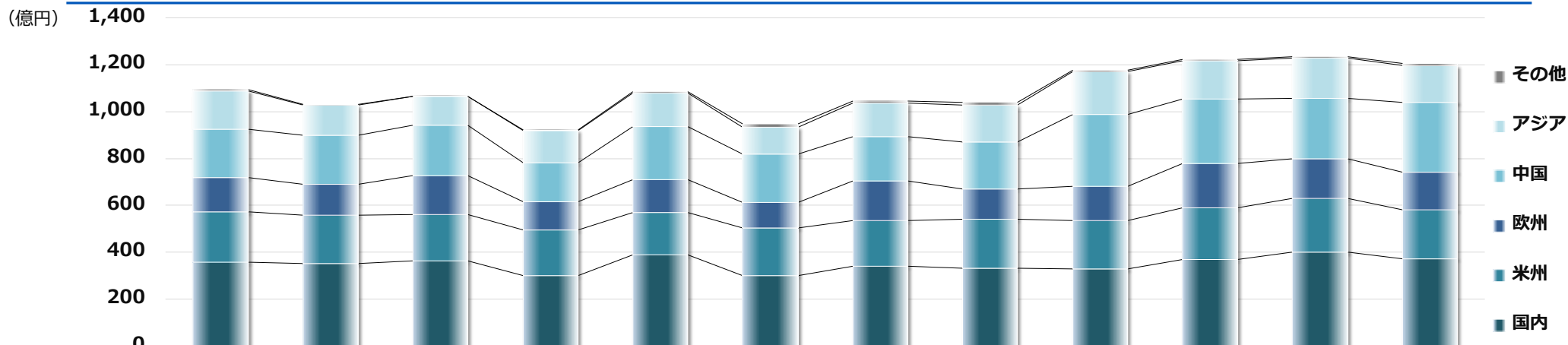
[注.1] 表記：(M) = モーションコントロール, (R) = ロボット, (S) = システムエンジニアリング

[注.2] FY2017 4Qのデータは、対象期間を2017年12月21日～2018年3月20日に置き換えた〈参考値〉にて記載

[注.3] FY2015の数値は、セグメント区分見直し前の数値を使用

四半期連結受注推移（仕向先別）

※為替は期中平均レートを使用



		FY2015				FY2016				FY2017			
		1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q 〈参考値〉
全社	YoY	+8%	+6%	+1%	▲17%	▲1%	▲8%	▲2%	+13%	+8%	+29%	+18%	+16%
	QoQ	▲1%	▲6%	+3%	▲14%	+18%	▲13%	+10%	▲1%	+13%	+4%	+1%	▲2%
YoY	国内	▲3%	▲7%	▲11%	▲16%	+9%	▲15%	▲6%	+11%	▲15%	+23%	+18%	+12%
	米州	+30%	+17%	+3%	▲8%	▲17%	▲1%	▲2%	+7%	+15%	+9%	+17%	+0%
	欧州	+15%	+6%	+24%	▲29%	▲3%	▲18%	+2%	+6%	+2%	+73%	▲0%	+25%
	中国	▲7%	+14%	+18%	▲21%	+10%	▲2%	▲12%	+21%	+36%	+34%	+38%	+47%
	アジア	+32%	+14%	▲10%	▲12%	▲13%	▲10%	+17%	+15%	+27%	+40%	+20%	+1%
QoQ	国内	+0%	▲2%	+3%	▲17%	+29%	▲23%	+14%	▲2%	▲1%	+12%	+9%	▲7%
	米州	+1%	▲4%	▲3%	▲2%	▲8%	+14%	▲5%	+7%	▲1%	+8%	+2%	▲8%
	欧州	▲14%	▲9%	+26%	▲28%	+17%	▲23%	+58%	▲25%	+13%	+30%	▲9%	▲6%
	中国	▲2%	+2%	+2%	▲23%	+37%	▲9%	▲9%	+7%	+53%	▲11%	▲6%	+15%
	アジア	+6%	▲21%	▲5%	+12%	+4%	▲19%	+23%	+10%	+15%	▲10%	+5%	▲7%

[注.1] FY2017 4Qのデータは、対象期間を2017年12月21日～2018年3月20日に置き換えた〈参考値〉にて記載

[注.2] FY2015の数値は、セグメント区分見直し前の数値を使用

主要生産拠点



YASKAWA